

## 「所有から利用へ」事業モデル転換



横河レンタ・リースはIT機器と計測器のレンタルサービス事業を展開しており、来年1月には設立30周年を迎える。業績も好調だが、今年4月に就任した金川裕一社長は「だからこそ事業モデルを変えていかなければ」と語る。キーワードはハードからソフトサービス、所有から利用へ、「こういった考え方を浸透させていくことが使命だ」と強調する。

——市場環境をどのようにとらえているのか

「IT機器のレンタル比率は1～2割程度にすぎない。ただ、ソフトウェアがクラウド化されている点などを踏まると、レンタルの潜在市場はまだまだあると思っている。計測器は工場の海外移転に伴い減少傾

かながわ・ゆういち 早大教育卒。1982年横河電機製作所（現横河電機）入社。横河マルチメディア社長、キュアンドエー会長などを経て2016年4月から現職。57歳。東京都出身。

——ビジネスモデルの転換には従業員の意識改革も不可欠だ

「従来は顧客からの要望があれば、見積もりを出して終わりといった傾向が強かったが、こうした営業スタイルに終始してしまうと値引き合戦から抜けられない。『なぜ、この機器を利用するのか』『どのような環境で使用するのか』といったこと

を問いただせるようにして、顧客との間で緊密な関係を構築していくことが必要だ」

——業績の目標は

「2016年3月期の売上高は376億円だったが、こんなものではないと思っている。大きく伸ばすことによってステージを変えていきたい」

——そのために必要なことは

「当社は連続的な成長を遂げてきたが、飛躍するには非連続的な成長が求められる。これまで事業提携やM&A（企業の合併・買収）には取り組んでこなかったが、外部の血を入れたりするなどして化学反応を起こさなければ、急激な業績の伸びは見込めない。こうした取り組み

によって業界他社から『すごいな』と思われるようになりたい。また、社内外にあえて情報をオープンにする社風に変えることで、良い意味でのプレッシャーをかけたい」

### ■会社概要

- ▷本社=東京都武藏野市中町1-19-18 武藏野センタービル3階
- ▷設立=1987年1月
- ▷資本金=5億2800万円
- ▷売上高=376億円（2016年3月期）
- ▷従業員=728人（15年4月）
- ▷事業内容=IT機器のレンタル